

2024年度第2回理事会 議事録 2024.6.13

日時：2024年6月13日（木）19：00～21：10

開催方式：オンライン

場所：職場または自宅

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、奥原孝幸、青木啓一郎、佐々木秀一、望月強併、遠藤陵晃、澤口勇、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、野本義則（17名）

現地出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2名）

その他出席者：兵頭夏海（事務局部員）、神原文香（事務局部員）

I. 会長より挨拶

2024年度第1回目の理事会となります。先日の総会はありがとうございました。語り合う展開でよかったと思います。我々が前に進んでいる姿勢を見せられたのではないかと考えています。課題は持ちかえり、理事会で審議していけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

II. 審議事項

1. 横浜市障害支援区分認定審査会委員の推薦について（事務局）

→賛成多数で承認

2. 「協会員＝士会員」実現のための方策と工程表（修正案）（事務局）

（資料の事前確認をお願いします）

(日)「協会員＝士会員」実現のための方策（修正案）2023年12月16日日本作業療法士協会理事会承認

(月)-1「協会員＝士会員」実現に向けての工程表（修正案）2023年12月16日日本作業療法士協会理事会承認

(月)-2「協会員＝士会員」実現に向けてのスケジュール（修正案）2023年12月16日日本作業療法士協会理事会承認

→賛成多数で承認

3. 部員申請（事務局）

スキルアップ研修班（精神科分野）：金箱詩織先生，武田病院，会員番号:71428

スキルアップ研修班（身障系分野）：小林亜香里先生，北里大学病院，会員番号：34910

→賛成多数で承認

4. 研究協力における会員情報の提供について（事務局）

正会員より研究協力の依頼があり、神奈川県士会会員の所属先を提供して欲しいというものであった。

事前に弁護士に相談を試みたが、社員の情報を提示すること、個人情報がどこまでとするのかの点で難渋の反応であった。

→日本作業療法士協会のポータルサイトにて会員情報が閲覧できる。その情報を提供し、対応可能か確認する。

5. 学生会員規程の修正について（規約委員会）

定款に来年度からの学生会員の初年度会費と入会金無料について明記していないことがわかった。今後定款の修正をしていきたいと思う。

→賛成多数で承認

6. 第20回県学会と県士会のコラボ企画案について(学会評議委員会)

中西学会長、福留事務局長からの提案。

理事会の意見として、新規入会者数も考えながらであれば、ともに新規入会者を増やす目的で、コラボ企画を考えたい。

会場は横浜市開港記念会館。横浜市の後援依頼があれば、一年前から会場予約が可能。

理事会と県学会のコラボ案について理事会の意向を伺いたい。

<質疑応答>

田中副会長：福利部、広報部が毎回ブースを出してくれているので、コロナ渦に入職して、まだ県士会に入れてない方などを対象に取り組んでも良いのではないかな。

金山理事：会場が開港記念会館とのことで、スペース環境によっても変わってくると思う。

青木理事：具体的には決まっていないため、现阶段ではコラボをするかどうか、コンセンサスを得たい。

広報部、福利部としては、一緒にコラボする機会を設けさせて頂きたい。

横浜市の後援依頼も含めて賛成多数で承認。

Ⅲ. 報告事項(各部署・理事・三役)

1. 事務局

(1) 部員用名刺について

部員用の名刺を作成し、事務局にて保管しているため必要な方は事務局へ問い合わせしてほしい。

2. 学会評議委員会

(1) 第20回県学会進捗状況

開催日 2025年9月21日 横浜市開港記念会館(第2候補は北里大学 IT棟)

佐藤理事：9月21日は認知症の日のため、啓発活動などで県学会とコラボレーションができればと思うので検討をお願いします。

3. 福利部

(1) 新入会員オリエンテーションについて

日時：2024年6月23日(日)

10:30~11:30 第一部：代議員交流会

11:40~12:40 第二部：新入会員オリエンテーション

場所：IMS 横浜国際看護専門学校

対象者：神奈川県内に就職した新入職員、他県からの転入会員、新規で入会した会員

参加理事：参加理事は12名。福利部部員が手伝う予定。

内容：参加した方の自己紹介、理事の自己紹介・各部の紹介。代議員の自己紹介。

後半、飲食の時間を設けて和んだ雰囲気でも歓談する場を設けていけたらと思います。

佐々木理事：福利部からの依頼で学術部でも新人さんを集めて行う企画を検討しているため、オリエンテーションでも学術部の研修会に関しても触れて頂きたい。学術部の企画での参加者は30名程度。対面で会場に来てくださる方は無料となっている。(ZOOMも併用予定)

4. 田中副会長

(1) 渉外報告「リハビリ手帳普及部 POS会議」

3月からリハ手帳の話を開始。他職種団体(ケアマネジャー中心)にもアンケートを実施した方が良いのではないかなという話が挙がり依頼を行った。アンケートを実施して、積極的に意見を頂いた。

リハ手帳を利用するようになった背景として、神奈川県地域医療介護連携ネットワークでリハ職も含めて連携していくこととなった。県内、複数の地域で地域医療連携ネットワークを順次構築し、さらに広域のネットワ

ークに接続することで、県民の医療情報を広域的に共有する仕組みが必要とされている。

今後、全県で連携シートを利用して情報共有していくことが必要。6月～12月にかけてアンケートを分析し、1月に正式運用版の作成に進んでいければと思う。

田中副会長：P・O・Sで連携を図って進めている。今年度中に形にし、来年度の運用を目標に進めていければと思う。できるだけ多くの人にまずはリハ手帳の存在を知ってもらいたい。

(2) 今年度の協会長・都道府県士会長会議（よんぱち）予定について

今年度は4回の会議を実施予定。Xドライブに資料共有していくため各自、確認をお願いしたい。

第1回は7月6日(土)13時～を予定。

5. 澤口理事

(1) 神奈川 DWAT について

研修会案内について県士会ホームページに掲載中。

研修日：2024年7月22日10時～16時30分（オンライン）

参加することでチーム員の登録となる。事前課題、振り返りレポートの提出が必要。

秋にスキルアップ研修も実施予定となっている。

6. 吉本副会長

(1) 代議員・役員交流会について

新入会員オリエンテーション前の午前中に交流会を開催する。今回は交流を目的にテーマに沿って意見交換を行う予定。参加人数によってテーマや進め方を検討する。

【その他報告部署・理事】

1. 神保理事

昨年度までポイント申請の登録エラーが出た場合、追跡調査をしていた。今年度よりポイント申請のエラーがあった場合は、講師を除き、本人からポイント申請の依頼があった場合のみ対応させて頂く。

研修会開催の際も会員への注意喚起をお願いしたい。

2. 遠藤理事

三役と相談した上で、神奈川県介護予防事業支援の受託についてはお断りをしている。

3. 野本理事

エリア化の部員と方向性をまとめて報告しているため、一読頂きたい。またエリア化した上で何を行っていくかを検討していく。

4. 佐藤(隼)理事

認知症の関連団体から連絡があり、コロナ禍もあり当会の参加が休会になっていたが再度、作業療法士会の参加の依頼があったため、小田原地域にいる方の紹介など対応できる範囲で参加していけたらと思う。

IV. 監事より

野々垣監事

新入会のメンバーが加わり、県士会としても優先順位をつけながら進めていければと思う。

学会の話も進んでおり、理事会で議論し様々なことを検討していけるよう協力していきたい。

錠内監事

以前、政治連盟から降りることをお伝えしたが、今後は神田理事に責任者を継いでいただくことをお願いした。

今後も協力をお願いしたい。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	佐藤 隼	印
	理事：	玖島 弘規	印
	監事：	錠内 広之	印